

第2次計画	第3次計画（案）	考え方
<p>1 計画の基本理念</p> <p>世代をこえて安心して住めるまちをめざして</p>	<p>1. 基本理念（町のあるべき姿）</p> <p>支えあいの絆を みんなでつくるまち 精華町</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 「理念」＝「あるべき姿」として整理し、項目名を調整。 • 理念の趣旨を継承するが、福祉部門の上位計画として、地域共生社会の状態像として表現。 • 世代をこえる……「みんな」で代替、説明文で補足 • 支えあい……理念説明文より採用 • 住める……よき住生活を享受する受動的表現から、住民主体の能動的表現「つくる」に変更 • （参考）地域福祉活動計画の基本理念「地域で共に助けあい支えあうまちづくり」
<p>2 方針</p> <p>[1] 日常生活圏域における地域ぐるみの支え合いの実現</p> <p>[2] 安心して住めるまちをめざす地域包括ケア体制の実現</p> <p>[3] 校区圏域の地域福祉活動の支援</p> <p>[4] 新たな地域福祉活動の担い手の養成</p> <p>[5] 新旧地域の交流や人のつながりづくり</p>	<p>2. 計画目標（基本理念に向かって、求める状態像）</p> <p>[1] 「我が事・まるごと」の地域福祉の仕組みが定着している</p> <p>[2] その人の生活のしづらさを「まるごと」受け止める仕組みを備えている（せいか地域包括ケア体制の充実）</p> <p>[3] 人権文化に根ざした地域共生社会の考え方が、町のまちづくりの基軸となっている</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 「方針」について、「計画が目標とすること」の位置づけで再編し、状態像の表現に。 • 目標達成に係る取り組みの「粒度」を勘案して、3項目に調整。